

クラス	314	担当教員	松 下 明 生
テーマ	芸術の世界：美術造形と教育「みる・かく・つくる・あそぶ・いきる」		
著書・論文 作品等	《作品所蔵》作品「名古屋城」(M10)南京外国語学校所蔵・作品「秋映」(F50)愛知東邦学園所蔵・作品「気配」(F150)大府市役所所蔵・作品「雪樹立」(F30)大府市役所所蔵・作品「ウィーンの屋根」(150×750)セキ美術館所蔵・作品「祈り」(150×750)セキ美術館所蔵・作品「おへんろの道」(F150)明石寺所蔵・その他収蔵及び個展等展示多数 《執筆・論文など》・著書「造形表現」(分筆：第15章作品展をすすめるために)2018(株)一藝社・教職・保育職シリーズ5.「教育・保育の新視点」(分筆：第5章 幼児の表現と小学校図画工作科との接続と指導計画)(株)三恵社・論文「図画工作科と生活科との合科的カリキュラムマネジメントに関する研究－教員養成系大学に於ける教科教育法についての考察－」2021(日本福祉大学子ども発達学論集第13号.pp.1-11)・「描画行動への好悪心理の起因に関する研究－幼児の造形表現と図画工作及び美術科教育法の芸術心理側面からの問題提起－」(日本福祉大学子ども発達学論集第12号.pp.1-17)・「幼児の領域(表現)と小学校課程(図画工作科及び生活科)との相関について」2018(柳城こども学研究第1号.pp.15-29)		
ゼミナール概要			
キーワード：芸術学・美術教育学・図画工作・障害児アート・造形ワークショップ・子どもの造形表現			
「目的」 《お絵かき・工作・鑑賞・ワークショップを通じた方法論の研究と子ども理解》 《各教科：教材の開発研究と実践》 造形活動に進んで参加し、楽しく積極的に美術造形の世界の面白さを享受し、それを他者と共に分かち合い成長する。 「人間の本能的な活動：芸術学による人間形成及び教育」について、多様な手法で実践体験し、実現する人材として社会貢献をする。「美術による人間形成」V.ローウェンフェルド(黎明書房：1964)「芸術による教育」ハーバート・リード(フィルムアート社：2001) 「方法」 3 年前期 ・大学の造形系授業では学べないような、一歩進んだ「芸術学的体験」をする。 ・共同活動と個人研究の2つの方向で進める。(美術館巡り、親子ワークショップ等の企画と実践を行い、経験値を高め見聞を広める。 3 年後期 ・教育実習に向けて、各教科(生活・理科・算数・社会・道徳・国語・体育など)の各教科教材の制作。 ・子どもと親子参加する活動や、地域の高齢者や支援の必要な施設などにて関わりながら制作体験をする。 ・障害児アート(アールブリュッド)の理解を深め、支援の方法研究等、NPO法人等へ出張し協働する。 ・文献の調査と参考図書や文献の蓄積作業を行い、芸術全般の理解を深める。 4 年前期 ・卒業後の生き方について向き合い、準備と実現に向けて自ら行う。 ・新しいワークショップのファシリテーターとしての役割と社会貢献について考える。 ・個人の卒業研究として「制作」か「論述」かを考えてテーマを見出す。 4 年後期 ・卒業研究(作品制作・論文・制作とレポート：の中から選択) ・地域貢献(共同ワークショップ) ・卒業制作展示会 *卒業研究は、必ずしも制作とは限らない。芸術論的なアプローチによる論文でも良いし教育学的な実践論文でも良い。もちろん制作(絵画・イラスト・紙芝居・絵本・アニメーション・立体工作・オブジェ・インスタレーション・現代美術・デザイン・障害児支援具など)を主軸として作品発表及びレポートでも良い。音楽と美術の融合的モノづくり、工学的な未来の自動車模型の制作や乗り物の提案、建物のジオラマや建築設計、生活に必要なデザインの提案など。自らがやりたいことを見つけて実行することが大切である。これらは、必ずや教師や子どもに関わる仕事に必要な資質となり、教員採用に留まらず、一般企業においても新しいものを生み出す力となり得る。			
担当教員からのメッセージ			
上手い下手ではなく「描いたり作ったり」することが好きな人、自ら考えて実行できる人が集まればいいですね。			